



親子で天体観測

夜空を見上げてみよう

時期:6月

— 夕方の西空で水星を見よう! —

惑星の中で太陽に1番近い水星は、太陽からそれほど離れることがないため、なかなか見られない惑星です。有名なポーランドの天文学者コペルニクスは、生涯1度も水星を見たことがないともいわれています。

地球上からの望遠鏡による水星観測は大変難しく、表面の様子が分かったのはアメリカの水星探査機マリナー 10号が1974年に初めて水星に接近してからでした。大気がほとんどないため、月に似た環境でたくさんのクレーターが発見されています。実際に水星を見ることが出来るのは、皆既日食のときや、水星が太陽から西に1番離れる時期の明け方、あるいは東に1番離れる時期の夕方のごく短い時間だけです。

その水星が今月13日の前後数日間、夕方の西空で見頃を迎えます。是非探してみてください。

★ 日立シビックセンター 科学館
篠崎 和之



大きさの比較 左から水星、金星、地球、火星

天文現象

- 6月 1日(土) 下弦の月
- 6月 9日(日) 新月
- 6月13日(木) 水星が夕方の西空で見頃
- 6月17日(月) 上弦の月
- 6月21日(金) 夏至
- 6月23日(日) 満月
- 6月30日(日) 下弦の月

ワンポイントアドバイス

西の空が開けた場所で探しましょう。



日立シビックセンター天球劇場のイベント案内

- ★ドーム映像番組「ハッスル黄門の宇宙漫遊記」
- ★ドーム映像番組「Young Alive! ~IPS細胞がひらく未来」
- ※6月23日(日)までの上映
- ★「星と宇宙を楽しむプラネタリウム」
- ★6月19日(水) 18:30~
- プラネタリウム夜の特別上映「UNIVIEW(ユニビュー)スペシャル」
- [問い合わせ] ☎0294(24)7731 <http://www.civic.jp>



日立シビックセンター科学館よりプラネタリウム入場券をペア2組にプレゼント。
11日必着で茨城朝日宛てハガキで応募を。